

# グローバル経済・金融の新たな動きと G20 の役割

## ～国際会議の舞台裏～

2019.3.12  
久保田 勇夫

### 1. 国際的な経済体制の仕組み

- (1) 貿易・・・GATT(1948) → WTO(1995)・・・貿易・サービス取引の自由化
- (2) 経済発展・・・IMF、世界銀行(1945) (アジア開銀(1966)、米州開銀)
- (3) 経済政策(財政、金融、通貨)・・・経済サミット等

### 2. 経済政策の場

- (1) 経済サミット(先進国首脳会議) [A]
  - ・ 1975 年～
  - ・ 日、米、独、仏、英、伊、加、EU
  - ・ 首脳会議(1975 年以降) 7 か国又は 8 か国(ロシア)
  - ・ サミット財務大臣会議・・・サミットの都度 [a]
  - ・ 背景・・・第一次オイル・ショック
- (2) 5 か国蔵相・総裁会議(G5) [B]
  - ・ ? 年～?
  - ・ 日、米、独、仏、英
  - ・ 通貨・財政・金融政策
  - ・ プラザ合意(1985)、ルーブル合意(1987)
  - (注)5 か国蔵相会議は 1973 年から
- (3) 7 か国財務大臣・総裁会議(G7) [B']
  - ・ 1986 年～
  - ・ 上記(2)+伊、加
  - ・ G5の後継的存在
- (4) 10 か国財務大臣・総裁会議(G10) [C]
  - ・ 1962 年～
  - ・ 上記(3)+オランダ、ベルギー、スウェーデン、スイス
  - ・ G7に類似(国際流動性、SDR、為替介入政策)
  - ・ 背景・・・英ポンド危機(IMFへの融資)
- (5) G20 財務大臣・総裁会議 [D]
  - ・ 1999 年～
  - ・ 国際金融システム上、重要な国(20 か国)
  - ・ G7+主要新興国(ブラジル、中国、インド、ロシア等)
  - ・ 主要な国際経済問題
  - ・ G20 サミット(6)に先行
  - ・ 背景・・・アジア通貨危機

- (6) G20 サミット [d]
- ・ 2008 年～
  - ・ G7+主要新興国
  - ・ 主要な国際経済問題
  - ・ 背景・・・金融危機(リーマン・ショック)

### 3. 会議の実例

(1) 東京サミット(1986.5) [A] 《1\$=170 円》

イ. 中曽根総理、安倍外務大臣、竹下大蔵大臣

ロ. 主要テーマ

(i) 経済指標(indicator)を使った経済政策協調

- ・ 「対外不均衡を減らす為に、主要国が目指すべき経済指標について合意し、現実の動きがそれから乖離していれば、関係国の経済政策を変える(政策協調)こととする」かどうか
- ・ 各国の蔵相は、それぞれの国の経済目標及び経済見通しの整合性を検討するため、経常収支等の一定の指標を活用して経済活動を吟味することに

(ii) イタリアをG5に加えるか

- ・ 伊、加を加えてG7を創設(G5は存続)

(iii) 「円高に歯止めを」(日)

(2) 5か国蔵相・総裁会議(1985.9 ニューヨーク) 「プラザ合意」 [B] 《1\$=238 円》

イ. 竹下大蔵大臣、澄田総裁

ロ. 主要テーマ

(i) 為替政策の変更

- ・ 為替相場を市場に任せず、当局が関与する
- ・ ドル高(円安、ドイツマルク安)を改め、ドル安(円高、ドイツマルク高)を目指す

(ii) その為の手段

- ・ 外国為替市場へ介入する(ドル売り・円買い等)
- ・ 各国の介入額につき合意
- ・ 内需の拡大(黒字国)、内需の抑制(赤字国)

(3) 5か国蔵相・総裁会議(1987.2 パリ) 「ルーブル合意」 [B] 《1\$=153.50 円》

イ. 宮沢大臣、澄田総裁

ロ. 主要テーマ

(i) 為替相場の安定

- ・ 「プラザ合意」(1985.9)を契機に始まったドル安(円高、ドイツマルク高)を止め、為替を一定の枠内に保つことを目指す(経済政策+市場介入)
- ・ その目標となる為替相場につき合意
- ・ 日・米・欧の当面の介入額を検討

(ii) イタリアがG5の廃止を要求して、G5後のG7を欠席

- ・ 漸次G5が消滅の方向へ

#### 4. 国際金融会議における日本の立ち位置(試論)

##### (1) ユニークな存在

- ・先進国中、唯一のアジアの国
- ・発展途上国から先進国入りした唯一の国
- ・第二次世界大戦の敗戦国
- ・軍事力を伴わない大国

##### (2) 日本の政策の特色

###### イ. ODAの重視

###### ロ. 経済発展政策の成功

- ・日本・・・アジア→「東アジアの奇跡」、中国、アセアン
- ・米国・・・中南米→新興国は多いが
- ・ヨーロッパ・・・アフリカ→「離陸期」に入らず(除く南ア)

###### ハ. 貿易黒字国としての対応

- ・負担の調整への圧力(財政拡大、金融緩和)
- ・国内経済への跳ね返り

##### (3) 日本の立ち位置

- ・対米、対欧
- ・対途上国

#### 5. 福岡と国際金融会議

##### (1) ADB(アジア開発銀行)福岡総会(1997.5)

###### イ. 「ADB」

- ・アジア・太平洋地域の経済発展と相互協力
- ・本部: マニラ

###### ロ. 日本における総会

東京(1966、創立総会)、大阪(1987、第20回)

福岡(1997、第30回)、横浜(2017、第50回)

###### ハ. 参加者(過去最大)

- ・55か国大蔵大臣・総裁、世界銀行、IMF等
- ・3000名(直接関係者+ADB職員、セミナー参加者)

###### ニ. 福岡市決定の経緯

- ・福岡、名古屋、(横浜、広島)

###### ホ. 日本側関係者

- ・三塚博大蔵大臣、松下康雄日銀総裁、加藤隆俊財務官、  
佐藤光夫ADB総裁、(桑原敬一福岡市長、後藤達太福岡商工会議所会頭)

- (2) 九州・沖縄サミット・財務大臣会議(2000) [a]
  - ・首脳会議[A]・・・沖縄、 外務大臣会議・・・宮崎、 財務大臣会議[a]・・・福岡
  - ・「幻の福岡サミット」
- (3) G20 福岡財務大臣・総裁会議(2019.6.8～9) [D]
  - ・G20 の役割

#### 6. 国際金融会議主催の意義

- (1) 当地の知名度の上昇
- (2) 地域の経済的活性化(開催時、それ以降)
- (3) 地域の国際化(世界的視野の啓発)

(以上)